

<事務局報告>

1. 平成 25 年度 前期理事会および All About Swine 編集委員会

平成 25 年 7 月 8 日（月）午前 東京大学山上会館 201, 202 号室にて理事会を開催した。

出席者（順不同，敬称略）；井上忠恕，赤池洋二，名越仁宣，小林秀樹，岩村祥吉，山本孝史，清水実嗣，櫻井 忠，中根 崇，齊藤政宏，浅井鉄夫，高橋吉男，園田昭浩，宇留野勝好，佐丸郁雄，小林一彦（事務局），阿久津史子（事務局）

審議事項 ①平成 24 年度事業ならびに決算報告，②平成 25 年度事業計画ならびに予算案，③理事および役員変更について討議されそれぞれ理事会で承認した。審議事項①，②，③は当日午後の総会に諮られた。

第 24 回研究会講演内容についても検討され，後期理事会でさらに内容を詰めることとした。

編集委員会では，All About Swine の 43 号の内容を協議し，第 23 回講演内容のほかにいくつかの原稿を用意することとした。

2. 平成 25 年度 定期総会

平成 25 年 7 月 8 日（月）午後 東京大学山上会館大会議室にて定期総会を開催した。

名越副会長を議長に選出し，平成 24 年度事業報告，同決算報告，平成 25 年度事業計画・予算案，理事及び役員変更について事務局の説明に基づき審議され，いずれも理事会の原案通り承認された。

1) 平成 24 年度事業報告

7 月 26 日 午前 東京大学山上会館にて理

事会，同日午後同場所にて第 22 回定期総会および研究会を行った。研究会では以下 4 題の講演を行った。①「日本 SPF 豚協会年次報告 平成 23 年度（2011）および関東地区認定農場のワクチン使用状況」（日本 SPF 豚協会 藤田世秀氏）②「免疫学的去勢豚の発育，肉質と精巢の変化及び雄臭について」（千葉県南部家畜保健衛生所 中根 崇氏）③「豚の精液と疾病伝搬について」（動物衛生研究所 鈴木千恵氏）④「豚凍結精液技術の開発経緯とその多彩な利用方法について」～現場普及から見えてきたこと～（大分県農林水産研究指導センター畜産研究部 岡崎哲司氏）

9 月に All About Swine 41 号を発刊。11 月に後期理事会を開催し，平成 25 年 2 月に All About Swine 42 号を発刊した。

2) 平成 24 年度決算報告（別表参照）

3) 平成 25 年度事業計画

7 月 8 日 午前 理事会，同日午後 第 23 回日本 SPF 豚研究会 総会 講演会。

9 月に All About Swine 43 号（研究会講演内容主体）発刊予定。

11 月に後期理事会。2 月に All About Swine 44 号発刊予定。

4) 平成 25 年度予算（別表参照）

5) 理事退任および交代

退任理事 中島 宗雄氏

新任理事 佐丸 郁雄氏

（富山県農林水産総合技術センター）

退任理事 松下 幸広氏

新任理事 伊東 祐孝氏

（静岡県畜産技術研究所）

退任理事 鈴木 悟郎氏

新任理事 宇留野勝好氏
(全農 家畜衛生研究所)
退任理事 大村 誠 氏
新任理事 山下 裕昭氏
(熊本県農業研究センター 畜産研究所)

6) 役員変更

井上会長の辞任に伴い、新会長に小林秀樹副
会長、新副会長に園田昭浩理事が就任した。

小林新会長の挨拶の後、総会を閉会した。

3. 第23回日本SPF豚研究会

以下5題の講演を行った。①「世界の穀物需給

の動向と日本の輸入飼料の現状と見通し」(全農
本所畜産生産部穀物課 森 竜二氏) ②「TPPと
日本の畜産」(日本農業研究所 服部信司氏) ③
「日本SPF豚協会年次報告 平成24年度(2012)」
(日本SPF豚協会 藤田世秀氏) ④「オーエス
キー病の清浄化対策の経緯と今後について」(農
林水産省消費・安全局動物衛生課 大倉達洋氏)
⑤講「デンマーク養豚の視察報告(養豚における
薬剤使用量低減の現状と背景)」(有豊浦獣医科ク
リニック 大井宗孝氏) 講演の内容はAll About
Swine 43号に掲載予定。

／以上

平成 24 年度決算報告書

日本SPF豚研究会

平成 25 年 7 月 8 日

	24 年度予算額 (円)	24 年度決算額 (円)	備 考
(収入の部)			
前 年 度 繰 越 分	963,815	963,815	
会 費 正 会 員	400,000	374,000	
会 員 賛 助 会 員	240,000	240,000	
広 告 料	800,000	720,563	AAS 40, 41 号分
預 金 利 息	10	8	
雑 収 入	10,000	0	
収入合計			
(支出の部)			
会 誌 原 稿 料	400,000	357,000	AAS 41, 42 号分
会 誌 編 集 料	120,000	120,000	同
会 誌 印 刷 代 ・ 送 料	600,000	636,570	同
講 演 会 謝 礼	140,000	141,000	3 名講演料, 旅費
研 究 会 開 催 費	350,000	134,600	第 22 回研究会, 施設使用料, お茶ほか
会 議 費	100,000	56,300	施設使用料, 弁当代など
通 信 費	90,000	64,582	モバイル通信費, 切手, 現金書留など
事 務 費	40,000	31,865	サーバー使用料, コピー代, ラベル代, 封筒代
雑 費	25,000	21,225	振込手数料
予 備 費	548,825	0	
(支出小計)	2,413,825	1,563,142	
次年度繰越金	0	735,244	
支出合計	2,413,825	2,298,386	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。
 会計監査の結果収支が適正であったことを認めます。
 平成 25 年 6 月 12 日

監査

齊藤

政宏



上記以外に未収金として ￥366,188 - (2 月発刊 AAS 42 号分広告料) があります。

平成 25 年度予算

日本SPF豚研究会
平成 25 年 7 月 8 日

	25 年度予算額 (円)	備 考
(収入の部)		
前 年 度 繰 越 分	735,244	
会 費 正 会 員	400,000	200 名
会 員 賛 助 会 員	240,000	12 社
広 告 料	800,000	AAS No.42, 43 号分
利 息	10	
雑 収 入		
収入合計	2,175,254	
(支出の部)		
会 誌 原 稿 料	400,000	AAS No.43, 44 号
会 誌 編 集 料	120,000	同
会 誌 印 刷 代・送 料	650,000	同
講 演 会 謝 礼	120,000	第 23 回研究会
研 究 会 開 催 費	200,000	同上
会 議 費	100,000	
通 信 費	80,000	切手代など
事 務 費	40,000	コピー代, 封筒ほか
雑 費	25,000	振り込み手数料
予 備 費	440,254	
(支出小計)	2,175,254	
次年度繰越金	0	
支出合計	2,175,254	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。

* 科目間の流用を認める。